

2017年度 第2四半期 決算説明会

2017年11月6日
三菱ガス化学株式会社

2017年度 第2四半期 トピックス

- 「QOLイノベーションセンター白河」竣工
- 「特殊ポリカーボネート樹脂」が市村産業賞 本賞を受賞
- 超純過酸化水素製造工場の北米2拠点新設を決定、北米の生産能力を倍増へ
- 核酸医薬の研究開発を行うベンチャー企業へ出資
- 食品添加物規格に適合した過酢酸製剤を発売



QOLイノベーションセンター白河



特殊ポリカーボネート樹脂「ユピゼータ®EP」



「新流」（テレビ東京系列）にて当社が紹介されました。

連結 2017年度 第2四半期 実績

【単位：億円】

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	増 減		2017年度 2Q累計 (前回予想*)
			金額	%	
売上高	2,679	3,029	350	13.1%	2,900
営業利益	192	302	109	57.1%	240
(持分法利益)	(75)	(104)	(29)	-	(100)
経常利益	246	420	173	70.3%	330
税金等調整前四半期純利益	246	423	177	72.3%	330
親会社株主に帰属する四半期純利益	185	354	168	90.9%	260
一株当たり四半期純利益(円/株)※	85.55	164.28			120.47
中間配当金(円/株)※	16.0	24.0			22.0
為替レート(JPY/USD)	105	111			110

*2017年8月2日公表

※当社は、2016年10月1日付で株式併合（2株→1株）を実施しております。本資料の一株当たり四半期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

- 対前年同期比 機能化学品、芳香族化学品の販売数量増加に加え、高純度イソフタル酸、メタノール誘導品の市況上昇や円安などにより営業利益が増加。為替差損益の改善やメタノール市況回復等もあり、経常利益も増加。
- 対前回予想比 機能化学品・芳香族化学品を中心に、前回予想を上回る。持分法利益は前回予想並み。

注) 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

連結 2017年度 第2四半期 営業外損益・特別損益

【単位：億円】

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	増 減
営 業 外 損 益	53	117	63
持分法による投資損益	75	104	29
金 融 収 支	6	11	4
為 替 差 損 益	▲ 18	7	25
そ の 他	▲ 10	▲ 5	4
特 別 利 益	2	8	6
投資有価証券売却益	-	8	8
受 取 補 償 金	2	-	▲ 2
そ の 他	-	-	-
特 別 損 失	▲ 2	▲ 5	▲ 2
投資有価証券評価損	-	▲ 3	▲ 3
固 定 資 産 処 分 損	-	▲ 1	▲ 1
関 係 会 社 整 理 損	▲ 1	-	1
投資有価証券売却損	▲ 1	-	1
そ の 他	-	-	-

➤持分法による投資損益

- ・天然ガス系化学品+24
(メタノール市況回復等)
- ・機能化学品+5
(エンジニアリングプラスチック関連会社 利益増)

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2017年度 第2四半期 貸借対照表

【単位：億円】

科目	2017年 3月末	2017年 9月末	増 減	科目	2017年 3月末	2017年 9月末	増 減
流動資産	3,266	3,564	297	負債	2,648	2,632	▲ 15
現金	750	800	49	買掛債務	685	835	150
売掛債権	1,384	1,588	204	有利子負債	1,187	1,049	▲ 137
棚卸資産	946	1,003	57	その他	775	747	▲ 28
その他	186	171	▲ 14				
固定資産	4,115	4,136	21	純資産	4,733	5,068	334
有形固定資産	2,180	2,190	10	株主資本	4,129	4,430	300
無形固定資産	83	85	1	その他包括利益累計額	117	139	22
投資その他の資産	1,850	1,860	9	非支配株主持分	486	498	12
資産合計	7,381	7,701	319	負債・純資産合計	7,381	7,701	319
				自己資本比率	57.5%	59.3%	

収益力の増加により、財務基盤が強化（自己資本比率：59.3%）

連結 2017年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書

【単位：億円】

	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	増 減
営 業 キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー	462	419	▲ 42
税金等調整前四半期純利益	246	423	177
減 価 償 却 費	122	131	8
持 分 法 利 益	▲ 75	▲ 104	▲ 29
持分法適用会社からの配当金受取額	73	109	36
運 転 資 金 等	112	▲ 109	▲ 221
法 人 税 等 支 払 額	▲ 17	▲ 31	▲ 14
投 資 キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー	▲ 155	▲ 167	▲ 11
設 備 資 金	▲ 140	▲ 169	▲ 28
投 融 資 資 金 等	▲ 14	2	16
フ リ ー キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー（差引）	306	251	▲ 54
財 務 キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー	▲ 380	▲ 211	169
借 入 金 ・ 社 債 増 減 等	▲ 282	▲ 164	118
自 己 株 式 取 得	▲ 62	▲ 0	62
配 当 金 支 払 額	▲ 35	▲ 47	▲ 12
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 52	0	52
現金及び現金同等物の増減額（合計）	▲ 126	40	166
現金及び現金同等物の期末残高	632	712	80

収益力の増加により、フリーキャッシュフローは高水準で推移

2017年度 第2四半期業績（サマリー）

- 機能化学品、芳香族化学品を中心に好調。業績は、前年同期、前回予想とともに上回る
- メタノール市況の回復などにより、持分法利益も増加
- 上半期として、売上高、営業利益、経常利益および純利益ともに過去最高を更新
- 収益の増加に伴い、キャッシュフローも高水準で推移、財務体質が強化

資本政策・株主還元

- 事業の拡大・成長による企業価値の向上を経営上の最重要課題と位置付けつつ、株主還元も重視
- 以下のとおり、自己株式の取得・消却および増配を決定

➤ 自己株式の取得

- ・ 取得する株式の総数、取得価額の総額 250万株（上限）（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：1.16%）、70億円（上限）
- ・ 取得期間 2017年11月2日から2018年1月19日まで

➤ 自己株式の消却

- ・ 消却する株式の総数 1,000万株（発行済株式総数に対する割合：4.14%）
- ・ 消却後の発行済株式総数 231,739,199株
- ・ 消却予定日 2017年11月15日

➤ 配当

- ・ 中間配当 24円（前期実績比+8円※、前回予想比+2円）
- ・ 期末配当（予想） 24円（前期実績比+2円、前回予想比+2円）

※株式併合考慮後

連結 2017年度 通期予想

【単位：億円】

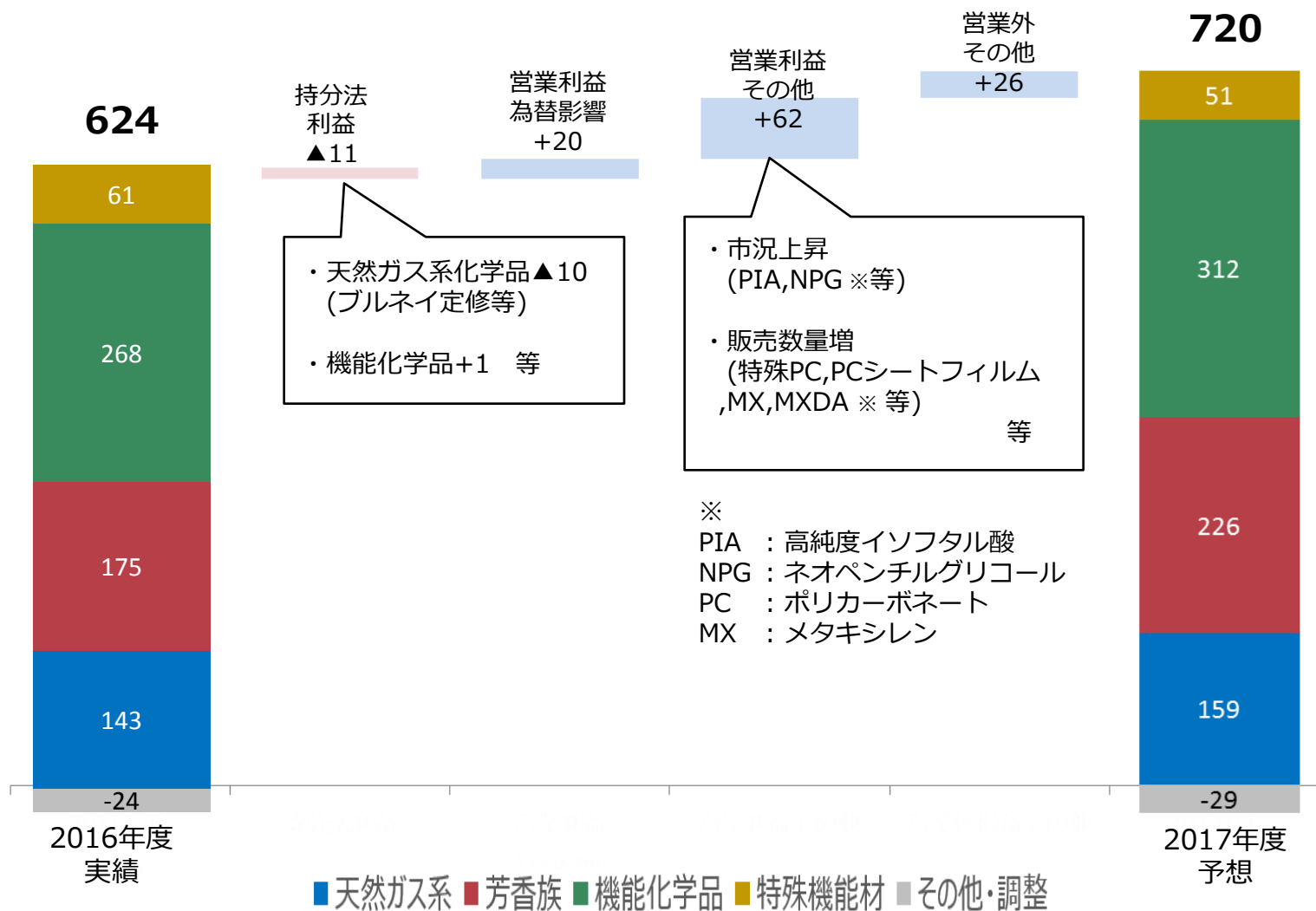
	2017年度 前回予想	2017年度 今回予想	増 減		2016年度 実績
			金額	%	
売上高	5,800	6,100	300	5.2%	5,564
営業利益	440	520	80	18.2%	437
(持分法利益)	(170)	(200)	(30)	-	(211)
経常利益	590	720	130	22.0%	624
税金等調整前当期純利益	590	700	110	18.6%	610
親会社株主に帰属する当期純利益	460	560	100	21.7%	480

一株当たり当期純利益(円/株)※	213.15	260.61			221.83
ROE (%)	10.4	12.6			11.9
年間配当金(円/株)※	44.0	48.0			38.0
為替レート(JPY/USD)	110	111			108

※当社は、2016年10月1日付で株式併合（2株→1株）を実施しております。本資料の一株当たり当期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

- 通期業績は前回予想を上回る見通し：要因は、①上期業績の上振れ、②エンジニアリングプラスチックスを中心に下期予想を上方修正
- 売上高、営業利益、経常利益および当期純利益は過去最高を更新する見通し

経常利益増減要因



<参考> 為替感応度 (概算) : 対USドル1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益8億円/年の減益 (増益)

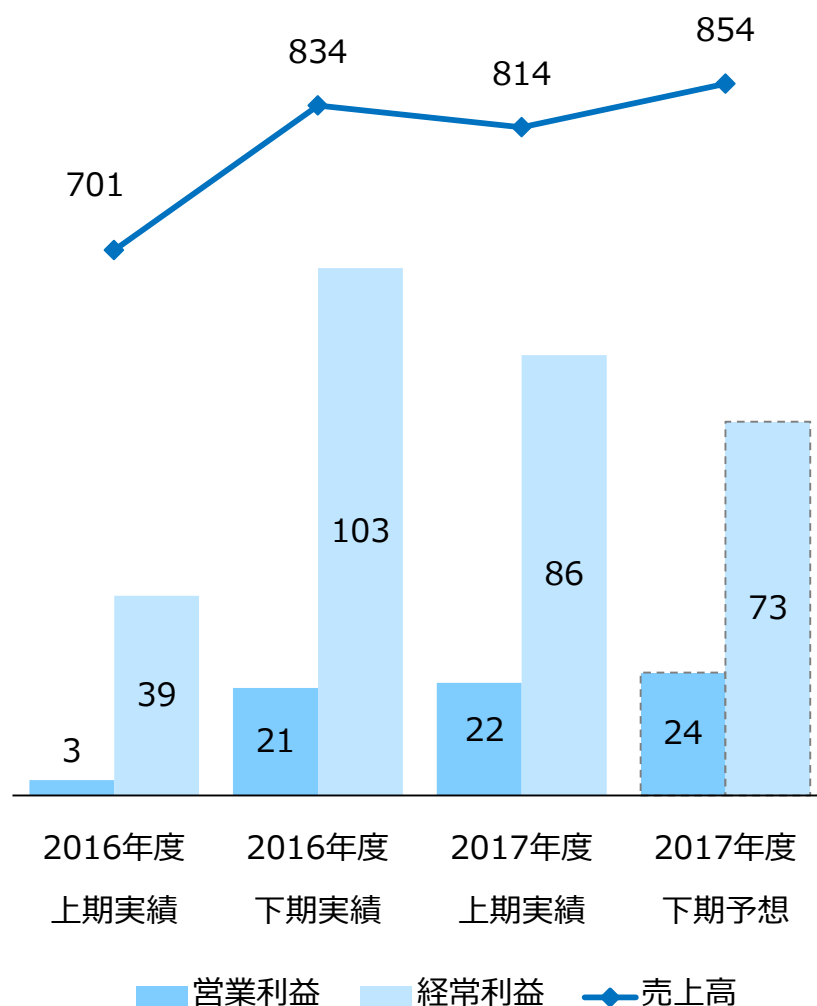
セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

【単位：億円】

	2016年度実績			2017年度（前回予想）			2017年度（今回予想）			17中計
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上高	2,679	2,885	5,564	2,900	2,900	5,800	3,029	3,070	6,100	7,000
天然ガス系化学品	701	834	1,535	754	779	1,533	814	854	1,668	2,100
芳香族化学品	955	989	1,944	1,060	1,056	2,116	1,062	1,105	2,167	2,400
機能化学品	835	886	1,722	916	887	1,803	979	945	1,925	2,000
特殊機能材	248	253	502	244	249	493	252	245	497	700
全社/調整	▲ 61	▲ 78	▲ 139	▲ 76	▲ 71	▲ 147	▲ 79	▲ 79	▲ 158	▲ 200
営業利益	192	244	437	240	200	440	302	217	520	400
天然ガス系化学品	3	21	25	12	17	29	22	24	46	60
芳香族化学品	90	92	183	122	89	211	142	93	236	160
機能化学品	96	120	216	106	88	194	138	108	247	120
特殊機能材	20	27	48	20	28	48	24	12	36	60
全社/調整	▲ 19	▲ 16	▲ 36	▲ 22	▲ 21	▲ 43	▲ 24	▲ 22	▲ 47	0
経常利益	246	377	624	330	260	590	420	299	720	550
天然ガス系化学品	39	103	143	72	56	128	86	73	159	210
芳香族化学品	85	89	175	116	82	198	138	87	226	150
機能化学品	114	153	268	129	103	232	176	136	312	130
特殊機能材	27	34	61	25	33	58	33	17	51	60
全社/調整	▲ 19	▲ 4	▲ 24	▲ 13	▲ 15	▲ 28	▲ 15	▲ 14	▲ 29	0

天然ガス系化学品

【単位：億円】



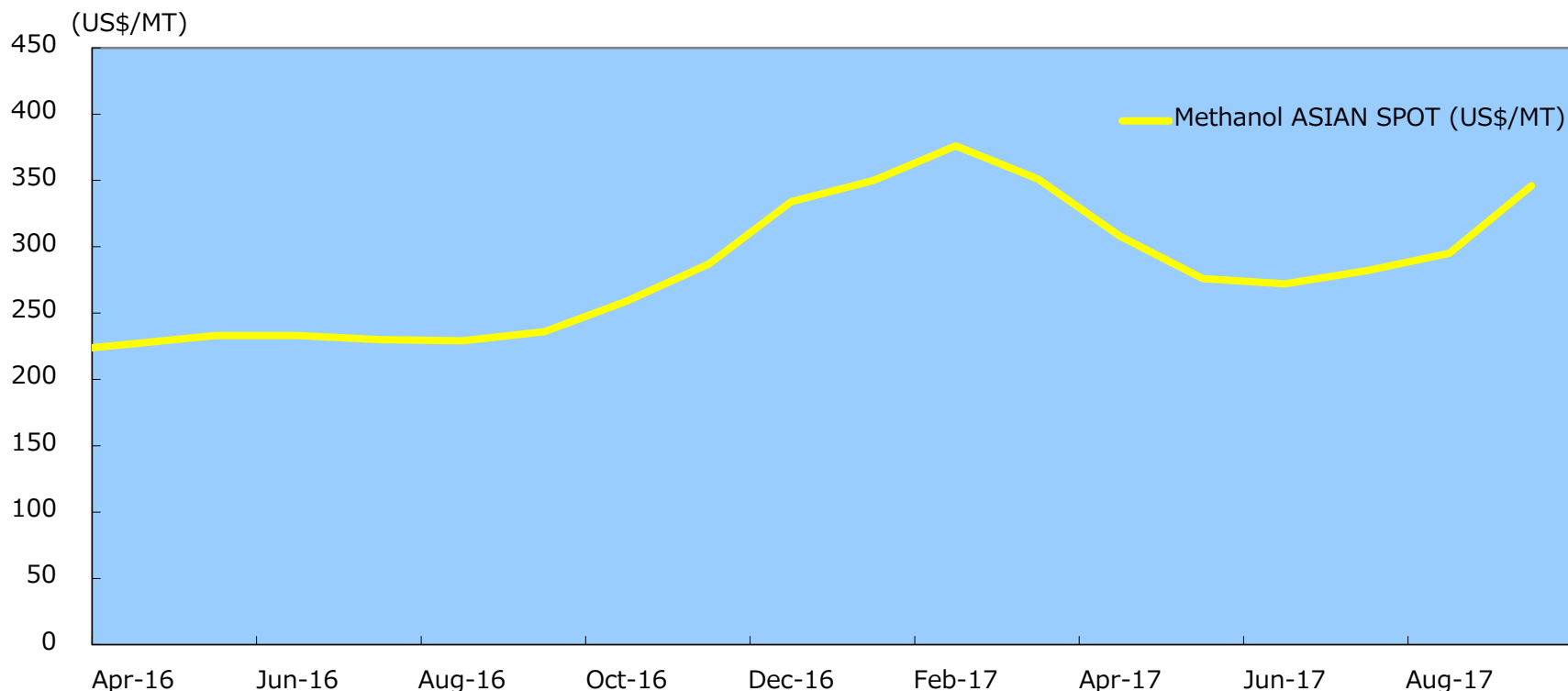
2017年度 上期(実績、前年同期比)

- メタノール市況の回復などにより、売上高が増加。
- ネオペンチルグリコールやMMA系製品の市況が上昇したことなどから、営業利益が増加。
- メタノール市況の回復などにより、海外メタノール生産会社の持分法利益が増加。

2017年度 下期(予想、上期実績比)

- メタノール・アンモニア系化学品は、引き続き堅調に推移する見通し。
- 海外メタノール生産会社の持分法利益は上期に比べ減益を予想。

天然ガス系化学品 メタノール市況の動向



2017年度 上期実績 : 296 US\$ /MT

需要 : 7月以降、中国MTO(Methanol To Olefin)の稼働が上昇し、需要が増加

供給 : 新規大型プラントの稼働はみられず。AR-RAZIのトラブルで、9月は供給量が減少

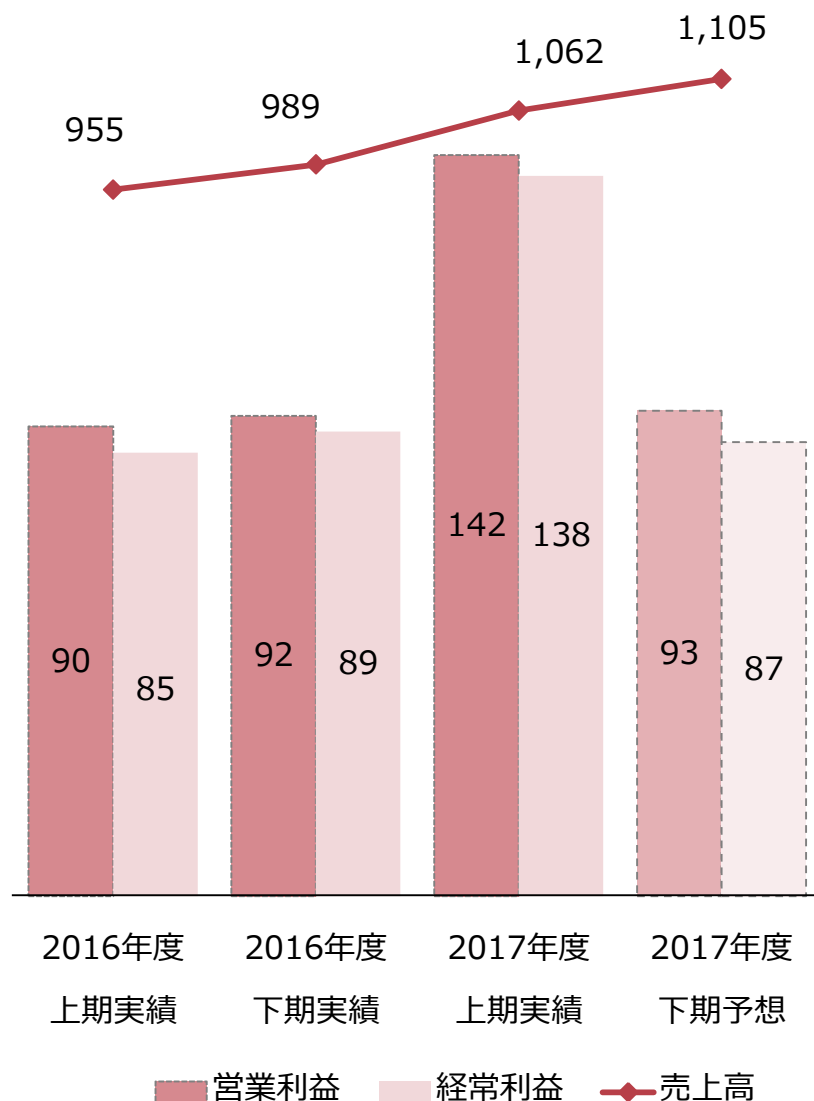
2017年度 下期予想 : 305 US\$ /MT

需要 : 中国MTO向けの需要は、引き続き堅調に推移すると予想

供給 : AR-RAZIは11月からの段階的な復旧を見込む。年明けに北米およびイランのプラント稼働が見込まれ、需給が緩む見通し

芳香族化学品

【単位：億円】



2017年度 上期(実績、前年同期比)

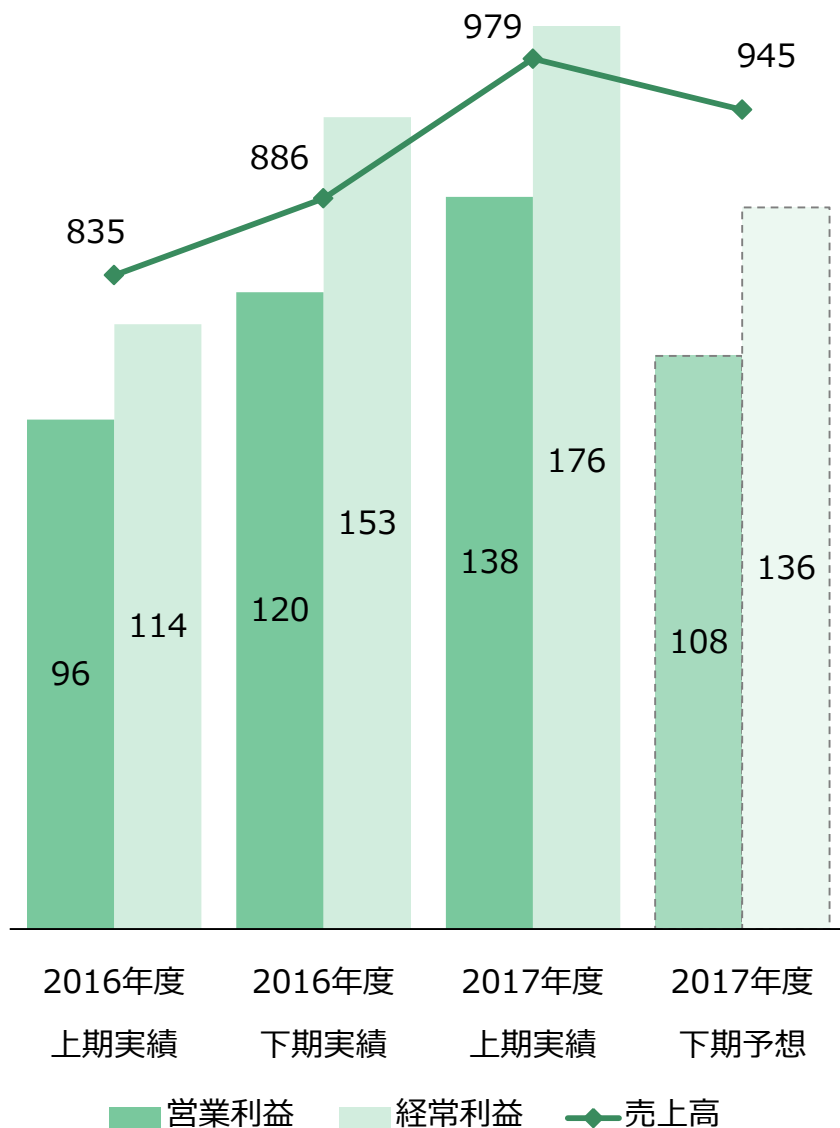
- 高純度イソフタル酸(PIA)：市況上昇
- メタキシレン：休止していた生産装置 1 系列を2017年 3 月末に再稼働。
- MXDA・芳香族アルデヒド：販売数量が増加。
- 発泡プラスチック (JSP)：原材料価格上昇も、自動車向けの発泡ポリプロピレン (EPP) が好調。

2017年度 下期(予想、上期実績比)

- 水島工場での定期修繕、PIAの市況下落などにより、単体の利益は減少。
- EPPの販売数量は、引き続き堅調に推移する見通し。

機能化学品

【単位：億円】



2017年度 上期(実績、前年同期比)

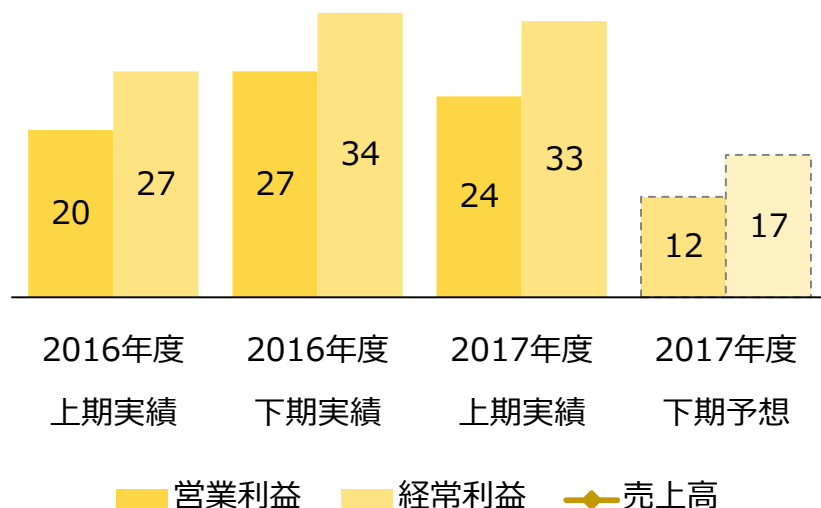
- 無機化学品：半導体市場の拡大に伴い、半導体向け薬液の販売数量が増加。
- ポリカーボネート(PC)：中国を中心に需要が好調。PC-ビスフェノールA (BPA) のスプレッドは高い水準で推移。スマホレンズ向け特殊PCが伸長。
- PCシートフィルム：ゲーム機や車載向けなどが好調。

2017年度 下期(予想、上期実績比)

- 無機化学品：半導体向け薬液における競合環境の激化を織り込み、減益。
- PC-BPAスプレッド：上期に比べ縮小。
- ポリアセタール(POM)：中国アンチダンピングによる影響を織り込み。

特殊機能材

【単位：億円】



2017年度 上期(実績、前年同期比)

- 電子材料：主力の半導体パッケージ向けBT材料はメモリー向けが堅調。販売数量は前年同期を上回り、増益。
- 脱酸素剤：輸出を中心に販売数量は増加したものの、損益は前年同期をやや下回る。

2017年度 下期(予想、上期実績比)

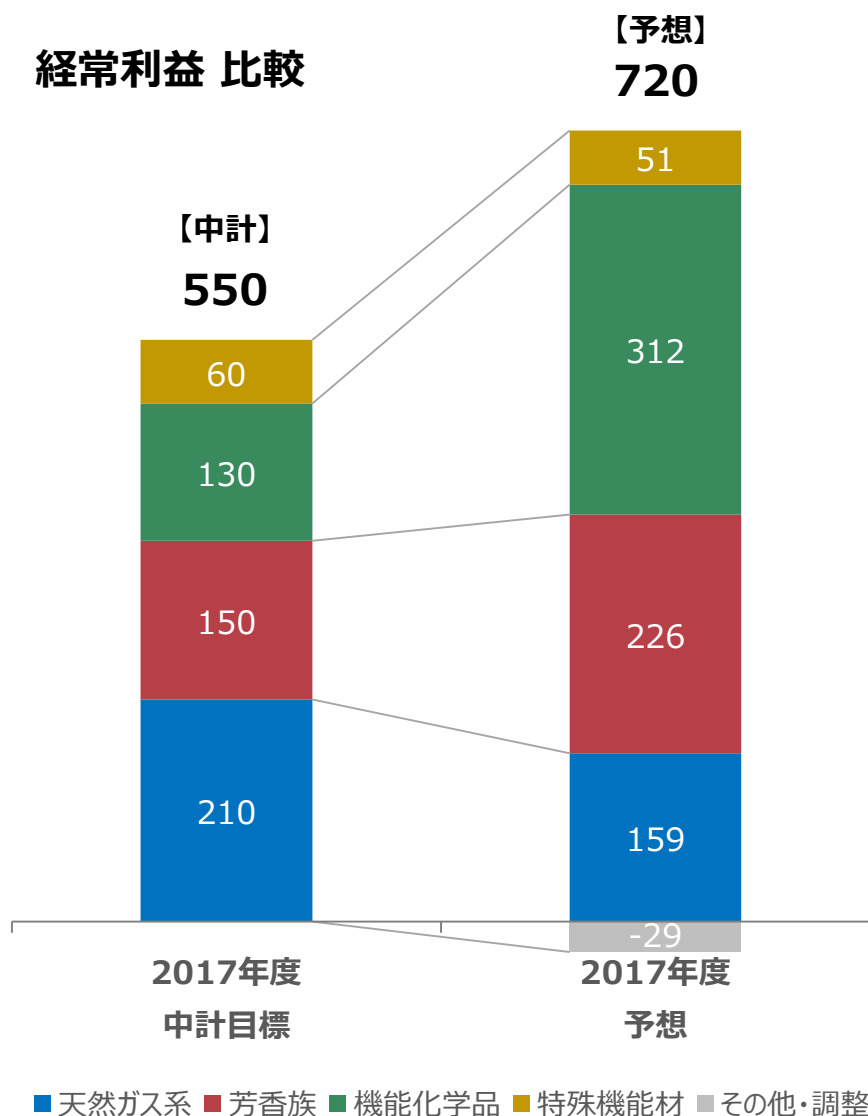
- 電子材料：引き続きメモリー向けが堅調も、販売数量は上期をやや下回る見通し。研究開発費の増加も見込まれ、減益を予想。
- 脱酸素剤：販売数量は堅調も、新工場(*)立上げに伴う費用の負担もあり、減益を予想。海外食品向けや医薬品分野の拡販に注力。

*QOLイノベーションセンター白河

中期経営計画『MGC Advance2017』と今期予想の比較

【単位：億円】

経常利益 比較



	2017中計	2017予想
売上高（億円）	7,000	6,100
営業利益（億円）	400	520
経常利益（億円）	550	720
ROE	9%以上	12.6%
為替(円/US\$)	115	111
メタノール(US\$/MT)	340	300

【今期予想】

➤売上高

メタノール市況や原油価格の下落もあり、目標値を下回る

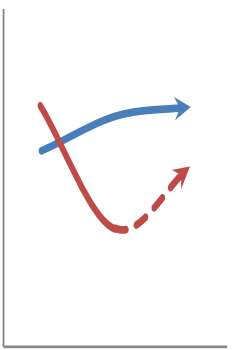
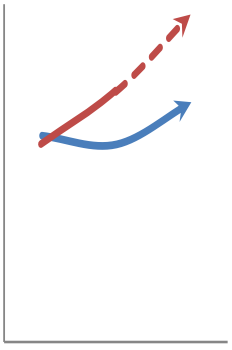
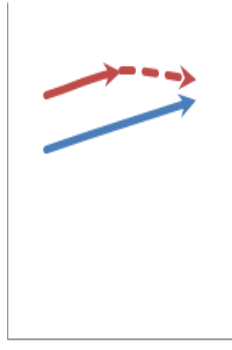
➤営業利益、経常利益

天然ガス系化学品、特殊機能材は目標値を下回る見通しであるものの、機能化学品、芳香族化学品が好調。外部環境の悪化にもかかわらず、目標値を達成

➤ROE

収益力が向上、目標値を達成

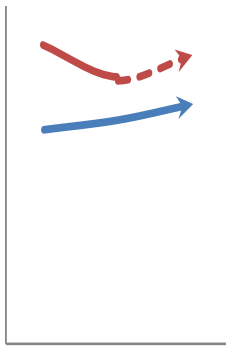
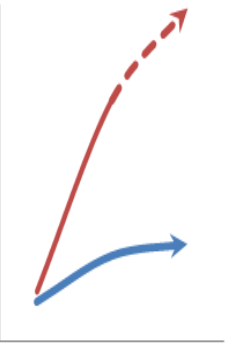
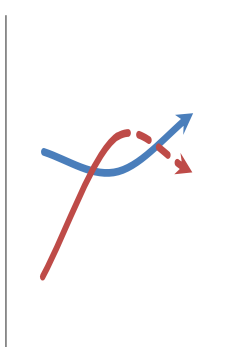
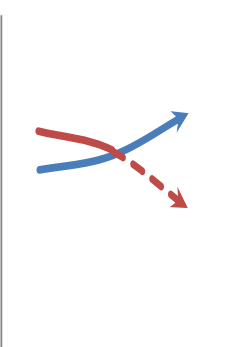
中期経営計画『MGC Advance2017』中核事業の動向（1）

	中期経営計画で掲げた事業戦略	中核事業の動向	中核事業 損益の動向(*)	
天然ガス系化学品	「基盤整備を行い、2021年ありたい姿に向けた準備を進める」	・メタノール市況は当初前提を下回る水準で推移。（中計17年度：340\$/MT、17年度予想：300\$/MT） ・トリニダード・トバゴプロジェクトは計画通りに進捗 ・原油価格の下落により、資源エネルギーの損益は低下	 15年度 16年度 17年度 メタノール	 15年度 16年度 17年度 資源エネルギー
芳香族化学品	「構造改革を終え、中核・準中核事業の収益力を強化する」	・MXDA/MXナイロン：需要が堅調で販売数量が増加、目標値を達成する見通し ・発泡体：自動車向けEPPの販売数量が堅調、目標値を達成する見通し <JSP業績推移（経常利益、億円）> 15年度 91→16年度 100→17年度(予) 97	 15年度 16年度 17年度 MXDA/MXナイロン	 15年度 16年度 17年度 発泡体

*2017年度中期経営計画 最終年度（2017年度）の経常利益に対する進捗状況をイメージとして図示化

➡：中期経営計画 ➡：実績および見通し

中期経営計画『MGC Advance2017』中核事業の動向（2）

	中期経営計画で掲げた事業戦略	中核事業の動向	中核事業 損益の動向(*)	
機能化学品	「これまでの投資に対するリターンを確実に回収する」			
過酸化水素/EL薬品	EL薬品：半導体市場拡大へ対応、既存顧客のシェア拡大と新規顧客の獲得	・EL薬品：競争環境の激化があるものの、販売数量増加により目標値を達成する見通し		
ポリカーボネート/シートフィルム	PC/機能性シートフィルム：高付加価値製品へシフト。海外子会社の利益安定化。	・PC：需要が堅調で販売数量が増加、スプレッドも高い水準で推移。特殊PCも伸長し、目標値を大幅に上回る見通し	15年度 16年度 17年度 過酸化水素/EL薬品	15年度 16年度 17年度 PC/シートフィルム
特殊機能材	「既存市場から新規市場へ、販売地域・用途の拡大を狙う」			
BT系製品	・モバイル系先端半導体市場における新製品の上市/多用なニーズへの対応	・BT系製品：メモリー向けが堅調であるものの、目標値はやや未達。16年度より台豊サーキットが持分法適用。		
エージレス	・海外市場開発を加速/食品以外の医薬・工業分野での開発強化	・エージレス：輸出を中心に販売数量は伸びるものの、新工場立上げ費用もあり、目標値は下回る	15年度 16年度 17年度 BT系製品	15年度 16年度 17年度 エージレス

*2017年度中期経営計画 最終年度（2017年度）の経常利益に対する進捗状況をイメージとして図示化

➡：中期経営計画 ➡：実績および見通し

参考：各種指標（1）

1.各種指標推移（連結）

【単位：億円】

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017(予)
設備投資額 (上期)	351 (193)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	254 (138)	222 (103)	305 (149)	350 (137)	420 (139)
減価償却費 (上期)	289 (135)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	235 (114)	237 (115)	267 (131)	256 (122)	270 (131)
研究開発費 (上期)	147 (67)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	151 (72)	161 (80)	168 (80)	189 (92)	192 (96)	200 (95)
年度末人員(人)	4,902	4,920	4,979	5,216	5,323	5,445	8,254	8,176	8,034	8,150
一株当たり当期 純利益(円/株)*	31	26	84	55	▲35	66	192	154	222	261
総資産 経常利益率(%)	1.2	1.4	6.5	4.5	4.6	4.8	5.8	5.9	8.4	9.5
自己資本 当期利益率(%)	2.5	2.2	6.9	4.4	▲2.8	5.0	12.6	9.0	11.9	12.6
配当金(円/株)* (うち2Q末)	32.0 (16.0)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	24.0 (12.0)	24.0 (12.0)	24.0 (12.0)	28.0 (14.0)	32.0 (16.0)	38.0 (16.0)	48.0 (24.0)

*当社は2016年10月1日に株式併合（2株→1株）を実施しております。一株当たり当期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

参考：各種指標（2）

2. セグメント別 設備投資額・減価償却費（連結）

【単位：億円】

年度		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
設備投資額	天然ガス系化学品	107	71	140	139	63	45	57	53	90
	芳香族化学品	106	77	45	47	57	23	40	106	105
	機能化学品	91	81	148	216	150	112	76	99	81
	特殊機能材	47	45	18	18	33	66	43	38	66
	その他	0	1	3	1	3	5	3	7	5
	合計	351	276	354	424	309	254	222	305	350
減価償却費	天然ガス系化学品	64	75	86	77	62	63	69	61	50
	芳香族化学品	77	79	78	77	58	41	39	82	85
	機能化学品	97	86	80	84	77	95	92	88	86
	特殊機能材	51	51	42	35	27	31	33	30	30
	その他	0	4	4	3	3	3	3	3	3
	合計	289	295	290	277	230	235	237	267	256

参考：各種指標（3）

3. 業績前提

	2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	195	246	283	307	349	385	385	364	375	449
原料キシレン (US\$/MT)	770	870	830	1,050	1,260	1,280	1,190	1,320	1,230	1,160
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,000 ～1,300	1,200 ～1,700	1,800 ～2,100	2,100 ～2,500	2,000 ～2,500	1,400 ～1,800	1,500 ～1,800	1,600 ～2,000	1,550 ～1,800	1,550 ～1,700
ポリカーボネート (US\$/MT)	1,900 ～2,400	2,400 ～2,900	2,450 ～2,950	2,400 ～2,900	2,800 ～3,000	2,600 ～2,900	2,500 ～2,800	2,500 ～2,800	2,400 ～2,600	2,400 ～2,600
為替(円/US\$)	96	90	89	82	80	78	79	87	99	102

	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		備考
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期 (実績)	下期 (予想)	
メタノール (US\$/MT)	432	358	301	230	230	327	296	305	アジアスポット平均 価格
原料キシレン (US\$/MT)	1,100	730	740	630	660	680	650	680	スポット価格 (FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,600 ～2,000	1,200 ～1,900	950 ～1,500	850 ～1,100	1,000 ～1,200	1,000 ～1,400	1,100 ～1,300	1,000 ～1,400	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,500 ～2,700	2,300 ～2,700	2,100 ～2,650	2,000 ～2,400	2,200 ～2,500	2,400 ～2,800	2,500 ～2,900	2,300 ～2,700	
為替(円/US\$)	103	117	122	118	105	112	111	110	

※メタノールについては、2014年度まで、上期は1-6月、下期は7-12月の価格を表記しております。

2015年度および2016年度は、上期は4-9月、下期は10-3月の価格を表記しております。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報 I R 部

T E L 0 3 - 3 2 8 3 - 5 0 4 1

<http://www.mgc.co.jp/>

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。



MGC

社会と分かち合える価値の創造。

時代のニーズをとらえ、持続的な社会の成長に貢献すること。

それが、私たちの使命です。限らない、技術の挑戦へ。

これからも、化学のチカラで多様なソリューションを提供します。

 **三菱ガス化学**
MITSUBISHI GAS CHEMICAL